

企画展

# 未来へつなぐ災害の歴史

—地震・火事・台風・竜巻—

2020  
2.1 SAT - 3.22 SUN

【開館時間】 9:00-17:00(入場16:30まで)

【休館日】 月曜日(2月24日は開館し、翌日休館)

【観覧料】 一般・大学生 500(400)円  
小・中・高生 200(150)円

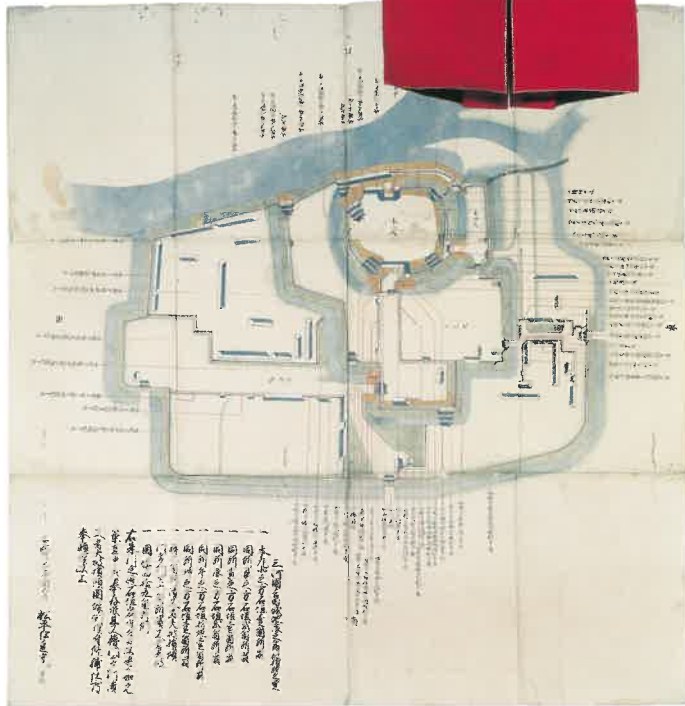
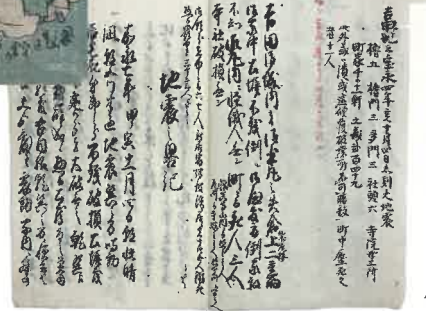
- ・( )は前売または20名以上の団体料金。
- ・前売券は豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろばまで販売。
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者1名は無料。
- ・東三河の小中学生は「ほの国こどもパスポート」の提示により無料。
- ・豊橋市在住の70歳以上は割引料金(200円)。
- ・当展有料券の提示で、「開館40周年記念 ストラスパール美術館展」(会期 2月8日～3月29日)が団体料金となります。

TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY  
豊橋市美術博物館

【秋葉権現像】江戸時代 大聖寺藏



1. 鯨祭 安政2年(1855) / 加藤茂弘氏蔵
2. 地震けん 安政2年(1855) / 加藤茂弘氏蔵
3. 火事羽織 江戸時代後期 / 個人蔵
4. 松坂賣「大地震高潮略記」 安政4年(1857)頃 / 個人蔵
5. 地震之節破損所之覚 安政4年(1857) / 当館蔵
6. 伊勢湾台風により被災した家屋 昭和34年 / 豊橋市提供



近年、頻発する様々な自然災害を目の当たりにして、地域の災害の歴史を紐解き、検証しようとする試みが各地でおこなわれています。豊橋市をふくむ東三河地域でも、過去に発生した災害の記録が数多く残されています。巨大地震や大規模な風水害は、これまでも繰り返し東三河で暮らす人々を苦しめてきました。実際に災害を経験した先人たちは、被害の状況を記録に残し、経験から得た教訓や記憶を後世に伝え、防災・減災の方法を模索してきました。

よく、「天災は忘れた頃にやってくる」といわれますが、近年では毎年のように各地で大規模風水害が発生しており、甚大な被害が予測されている南海トラフ地震の発生も危惧されています。東三河で生活する我々にとっても、災害は決して他人ごとではありません。

この展覧会では、地域に残された歴史資料を中心に、先人たちが災害とどう向き合ってきたのかを振り返ります。災害の歴史を未来へつないでいくことで、いつ起こるか分からない災害について考え、いざという時に備える助けとします。



**記念講演会①**  
**「大規模自然災害から地域の歴史資料をみんなで守る」**  
 [日時]2月15日(土)午後2時  
 [場所]豊橋市美術博物館 講義室  
 [講師]松下正和氏(神戸大学特命准教授)  
 [定員]80名(先着順)

**記念講演会②**  
**「三河における歴史地震を追う」**  
 [日時]2月29日(土)午後2時  
 [場所]豊橋市美術博物館 講義室  
 [講師]藤田佳久氏(愛知大学名誉教授)  
 [定員]80名(先着順)

**ワークショップ**  
**「誰にでもできる水濡れ資料の吸水乾燥法—『史料の救命士』ボランティアへのお誘い」**  
 [日時]2月15日(土)午後3時15分  
 [場所]豊橋市美術博物館 講義室  
 [講師]松下正和氏(神戸大学特命准教授)  
 [定員]20名(申込順)  
 [申込]2/4(火)午前9時から電話で美術博物館へ

**記念イベント**  
**《びはくで防災DAY》**  
 [日時]3月8日(日)午前10時～午後3時  
 [場所]豊橋市美術博物館前  
 [内容]起震車による地震体験、消防車と記念撮影、豊橋市ドローン飛行隊の紹介など

**ギャラリートーク**  
 [日時]2月11日(祝)、2月22日(土)各午後2時  
 [場所]豊橋市美術博物館2階展示室(要観覧料)  
 [講師]当館学芸員

